

特集

愛知淑徳大学 クリニックが移転

2022年8月



A 受付



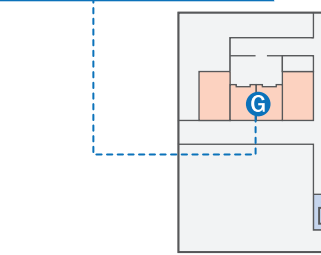
B 内科・糖尿病内科



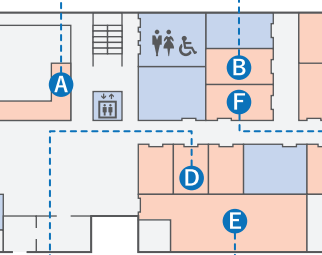
C 眼科



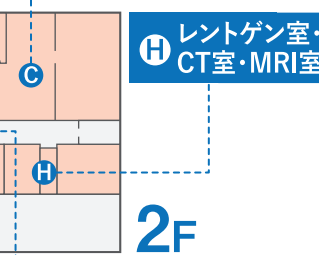
G 心療内科・精神科



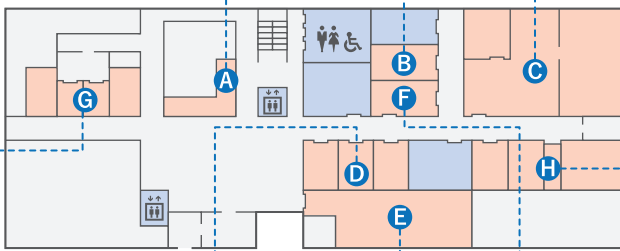
B 内科・糖尿病内科



C 眼科



H レントゲン室・CT室・MRI室



2F

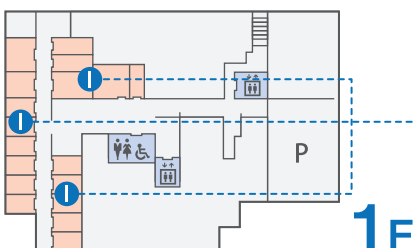
D 整形外科



E リハビリテーション室



F 耳鼻咽喉科



1F

I 言語訓練エリア



設備も新しく、さらに充実。
地域医療へのさらなる貢献をめざします。

8月19日、愛知淑徳大学クリニックは、大学内に新築された13号棟に移転し、リニューアルオープンしました。MRIやCTをはじめとする検査機器、健康管理に関する新たな施設なども導入し、医療体制がさらに充実。予防・検査・治療を通して、これまで以上に地域の皆さまの健康に貢献できるクリニックをめざします。

設備・機器

MRI・CTの最新機種を導入。
さまざまな病気の診断、
早期発見などの向上に役立ちます。

多様化するニーズと先進医療に 대응するため、MRIやCTなど最新の医療機器を導入。検査体制がさらに充実しました。また、地域医療の連携をより強化するため、近隣の医療機関からの紹介・依頼検査もおこなっています。

施設紹介

予防医学の観点から
健康づくりをサポートする
新たな施設を導入。

H CT室



X線を利用し、体内の状態を断面像として撮影。空気や骨、石灰化の描写を得意としています。

H レントゲン室



デジタル画像処理システムにより高画質な画像撮影が可能。骨密度測定装置も設置しています。

H MRI室



磁気と電磁波を利用し、体内の状態を断面像として撮影。放射線による被ばくの心配がありません。頭部、胸腹部、四肢、脊椎、脊髄など幅広い検査が可能です。

健診センター



「診療×健診」によるハイブリットクリニック

これまで実施していた法定健診、NPO特定健診などに加えて、人間ドック、脳ドック、がん検診を追加します。さらに、MRI、CT、胃カメラなど最新の検診機器を通常診療にも共用するなど、診療と健診を分離させないハイブリットなクリニックをめざします。

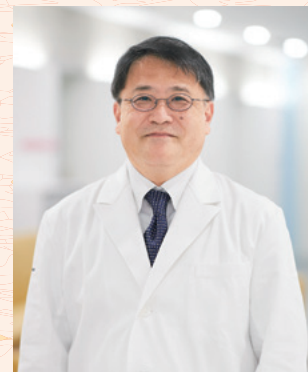
(2023年4月開設予定)

薬代が
補助対象に
追加!!

後援会から診療費等の
補助があります。

本学学生が愛知淑徳大学クリニックを受診した場合、後援会より年間5万円までの補助が受けられます(自費診療以外)。また、2021年4月より「薬剤料(薬代)」が補助対象に加わりました。 ※保険証と学生証の持参・呈示が必要です。

Message



愛知淑徳大学クリニック

平山 肇 院長

地域医療の中核拠点をめざし、
さらに精進を重ねてまいります。

愛知淑徳大学クリニックは、この度のリニューアルを機に、さらなる医療体制の充実に取り組んでいます。その一つが、MRIやCT、骨密度測定装置など大型検査機器の導入です。院内での活用のみならず、近隣の医療機関にも共同利用していただくことで、地域における医療資源の中核拠点をめざしたいと考えています。2つ目は、健診センターの新設です。通常診療を行うだけでなく、人間ドック、脳ドック、各種がん検診も実施することが可能となり、健康増進・維持、病気の予防に関する相談から実践まで、幅広くサポートする環境が整いました。また、大学の専攻との連携においても引き続き力を入れていきます。地域と教育との連携が一層強化されることでクリニックの存在感はさらに大きくなり、理想的な地域医療貢献へ近づいていくと期待しています。